

第2回 江東区 緑の基本計画改定委員会における意見と対応（概要）

- グレーの網掛けは会議中のやり取りで解決した議題
- 青字は意見書等で後日いただいたご意見

テーマ	主なご意見	対応（案）
議事概要・議事録	今回配布された議事概要以外に、議事録は作成されているのか。ホームページで公開されるのは議事概要とのことだが、区民は議事録に関心があるのではないか。	議事録は作成している。委員会の了承が得られれば、今後は議事概要と議事録の2種類を公開する。
	一般の区民は議事要旨が公開されていても、読まないのではないか。むしろ議事概要としてまとめられている方がよい。	
みどりの8つの機能と6つの課題	みどりの機能を従来の4つから8つにしたということだが、6つの課題とどのように対応しているのか。	みどりの8つの機能は、課題を総合的に導き出すための検討項目の1つであると考えている。
	8つの機能と6つの課題の対応がわかりづらい。8つの機能からみた課題もあると思うが、各機能からの分析が、それが6つの課題に反映されていないように見える。計画をつくっていく段階ではそうした分析が必要だと思うが、今後分析をされるのか。あるいは、2頁の問題点のまとめが7頁の考察に反映されているのか。	そうである。
	8つの機能はどれも重要だが、一般区民には多くて覚えるのが大変である。最終的にはモレやダブりをなくし、3つぐらいに絞るかまとめる等を検討されてはどうか。	計画書の上では、多様な機能があることを明らかにすることを重視し、8つの機能を踏襲する。ただし、区民への普及啓発の際には、難しい言葉ではなく実感として価値を感じていただけるような取組みを目指す。
	8つの機能が課題とうまくリンクしていない。区民サポーター会議・区民団体からの意見などをみると、8つの機能からご意見をいただいている。区民意見からは、みどりを増やすことより、みどりと関わりを増やしたいという意向が強いように読みとれる。また、この10年間の取組みの中で不十分だったことを意見として出していると思う。そうした区民の意見が2ページの8つの機能からみた問題点に反映されていない。区民の意見を踏まえた各機能の問題点として整理されていない。	8つの機能解析からみる問題点は、地図上での分析を主眼に置いて整理する。その結果と区民意見等を踏まえ、課題を総合的に抽出する流れとする。
みどりの機能	今回の課題の整理は機能解析からみる問題点を踏まえたものなのか。	現時点では不足があるかもしれないが、機能解析からみる問題点を踏まえたものという認識である。
	機能解析については、区民や団体の意見から問題点を導くのではなく、専門的な視点から、地図上できちんと整理すべきである。	現在整理中であり、第3回委員会においてお示しする。
	フィジカルな機能解析が必要である。	
	ヒートアイランド現象の緩和に向けては、気候そのものを改善する緩和策と、影響を緩和する適応策という考え方がある。クールスポットを増やすことも適応策になる。適応策の考え方について、記載してほしい。「木陰」に関する記載も随所があり、江東区はヒートアイランド現象の緩和に資する資源が多くある。	みどりの機能評価の中で、適応策の考え方（ヒートアイランド影響を緩和する役割があること）について記載する。

テーマ	主なご意見	対応（案）
	<p>来年度中間見直しを予定している環境基本計画においても、ヒートアイランド現象の緩和に向けた取組みを位置づけている。</p>	
	<p>防災の面からは、みどりの延焼防止の機能をどのように捉えるか。河川や河川沿いの緑化は延焼防止の機能を果たしていると思うが、木造住宅密集地域でのみどりの役割なども記載されるとよい。</p>	<p>防災機能についても機能評価を行い、木造住宅密集地域においては、植栽やオープンスペースによる延焼遮断等の役割がある広場（公園）の整備について追記する。</p>
課題	<p>課題の3つめと4つめについては、内容が重複する。</p>	<p>課題の3つめと4つめの内容を整理し直す。（課題3はみどりの質の向上に関するもの、課題4はみどりの普及啓発に関するものに整理）</p>
	<p>課題2について、ただ「多様なニーズに応える」だけでなく、どのような方向性を目指すのか（例えば暮らしの質の向上など）を示すことが必要である。</p>	<p>課題の説明の中に「暮らしの質を向上させる」等の文言を加える。</p>
施策の進捗状況	<p>施策の進捗状況について、区としてどのように評価されているのか。</p>	<p>CIGビジョンにおいて取組みを位置づけたものの、区と民間の役割分担が明らかでなかったこと、区が主体で進める公園整備などは進んできた半面、それ以外の施策が進んでいないといった状況もある。</p>
	<p>施策の推進にあたって民間との連携が課題という認識でよいか。</p>	<p>よい。</p>
社会動向	<p>国の動向として、都市公園法の改正が記載されているが、都市緑地法も改正され、民間による市民緑地の整備を促す制度ができた。また、江東区には生産緑地はないが、都市農業振興基本法が成立し、国としても都市農業の振興に力を入れている。江東区内には農に取組まれている民間の事業者さんもあり、連携の可能性なども考えられる。都市公園法だけでなく、広くみどりの動向を捉えられるとよい。</p>	<p>都市緑地法の改正や、国としては都市農業の振興を推奨しているという背景も追記するが、生産農地の無い江東区でどのような施策が実現できるかは今後検討する。</p>
	<p>グリーンインフラという言葉も最近、よく出ている。みどりのもつ防災機能なども注目されている。基本計画をまとめる段階ではそうした考え方も示していけるとよい。</p>	<p>グリーンインフラの記載の中に「防災」の視点も追記する。</p>
	<p>最近ではSDGsの考え方も浸透し始めている。江東区の現行の都市マスタープランや環境基本計画では、SDGsの考え方は盛り込まれていないが、今回の計画ではぜひそうした考え方をいち早く盛り込んでいただけると、10年先も使える計画になると思う。新宿区の緑の基本計画では、SDGsの考え方が盛り込まれている。</p> <p>緑被率や緑視率は量の目標だが、SDGsは質に関するものも含まれる。企業もSDGsを指標として動き出している。区民もそうした方向性を求めているのかと思うが、課題が10年前とあまり変わらない。QOLを高めるなど質に関する「ものさし」も必要である。連携・協働が必要であれば、協働の数などを指標にしてもよい。</p>	<p>社会動向にSDGsの考え方を追記する。具体的な施策等については今後検討する。質に関する目標は、第3回の議題としてご意見をいただく。</p>

テーマ	主なご意見	対応(案)
	<p>みどりの機能の捉え方も変化しており、10年前の4つの機能ではなく今回は8つの機能で捉えなおそうということである。グローバルスタンダードで考えると、グリーンインフラやSDGsといった考え方についても、前提としてきちんとおさえておくべきとご意見だと思う。それがいくつかの施策にも反映されるとよい。</p>	
子育て・教育	<p>子育て中の区民の立場としては、学校の校庭芝生化を進めてほしい。子どもが通う小学校は、改築にあたり芝生ではなくゴムチップになってしまい、残念である。</p>	<p>区として校庭芝生化を進めているところであるが、全面ではなく一部を芝生化する方向である。芝生化できるかどうかは、財政上の理由よりは、地域の協力なども含めた維持管理上の問題によるところが大きい。少しでもみどりが多い学校になるよう努力していきたい。また、環境教育は机上では実施しているが、体験を含んだ学習が少ない。総合的な学習の時間等を通して、体験型の学習を増やしていくなどの対応が必要だと考えている。</p>
	<p>子どもが農体験や土いじりができる場所が増えるとよい。学校ではバケツで米づくりの学習をしているようだが、土のふれあいはできない。子どもたちが関わるみどりが増えていくとよい。白河・亀戸などはみどりが少ないとのことだが、公園が近くにあるとみどりが多い印象ができるので、少しでも増やしていただくと有難い。</p>	<p>今後施策を検討する中で実現可能なものについては反映する。</p>
	<p>校庭の一部を菜園にするなど、色々な工夫の余地があるかと思う。</p>	
<p>若洲公園でお母さん方にヒアリングをした際にも、同じように農の体験ができる場所が少ないと仰っていた。若洲公園でも、畑で収穫した野菜をBBQで食べられたり、海で釣った魚を食べられたりといった楽しみがあるとよい。江東区は、一般的には自然が少ないという印象を持たれがちだが、実は資源が豊かである。最近、公園の一部を菜園にするサポートを行うようなNPOなども出てきている。</p>		
その他	<p>みどりに関心の低い層をどのように巻き込むかが課題だと思う。パブコメまでに区民の関心が高まり、パブコメでたくさん意見が出てくるとよい。 より多くの方にCIGに関心をもっていただき、より区民と区のニーズがあったプランができればよい。まずは来年10月のパブリックコメント募集の際、多くのお声をいただけるような流れを早めにつくっていければと思う。次回から、計画の内容に併せてこの流れについても討議できればと思う。</p>	<p>みどりに関心を持ってもらう施策について、今後、委員各位からアイデアをいただきながら検討していく。</p>
会議資料の事前送付	<p>今後の会議資料は事前に郵送でお送りし、当日持参していただく形とする。</p>	-